※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １０１４ |
|---|---|

# 令和８年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 公共 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校生の公共」　（帝国書院出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分自身の周囲から世界まで幅広く社会へ視野を広げ、答えのない問いに対しても自分なりの答えを持つことができるよう物事を判断、思考する力をつけてもらいたい。また、様々な他者がこの世界には存在し、その数だけ多様な考え方等があることを理解し、尊重する態度を身につけてもらいたい。そのため、過去から現在に至るまでの社会、先人たちが残した知識、考え方等を学び、それらを用いて学びを深めてほしい。

## 2　学習の到達目標

・人間と社会の在り方についての考察ができるように、現代社会の諸課題について理解を深める。
・現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を多面的・多角的に考察し判断する力や、社会参加を視野に入れながら考えたことを議論する力を養う。
・より良い社会の実現に向けて、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ まとめる技能を身に付けるようにする。 | 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 | よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図 ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期（４月～５月） | 青年期と社会参画 | 私たちの生きる現代社会<br>青年期について考えよう<br>悩むことについて考えよう<br>ジェンダーについて考えよう<br>学ぶことについて考えよう<br>社会参画とキャリアについて考えよう | a:自身の体験を振り返り、自分を成長させる人間としての在り方生き方について理解している。<br>b:社会参画する自立した主体とは、地域社会等の様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会等を形作る存在であると多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:社会における課題の解決に向けて、主体的に考え、行動しようとしている。 | 授業観察<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題 |
| | 国際政治の動向 | 国家主権、領土(領海、領空を含む。)<br>我が国の安全保障と防衛<br>国際貢献を含む国際社会に | a:国家主権、領土、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割等に関わる社会の事柄や課題をもとに、より良い社会は憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意形成を行うこと等を通して形作られるものであることを理解している。<br>b:自立した政治主体として帰結が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実をもとに協働して考察したり構想したりしたことを根拠に持って表現している。<br>c:国家主権、領土、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割等に関係する課題の解決に向けて、主体的に社会に関わろうとしている。 | 授業観察<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期・後期（６月～１２月） | 社会の基本原理と憲法の考え方 | 近代立憲主義の原理<br>近代立憲主義の広がり<br>日本国憲法<br>平等に生きる権利<br>自由に生きる権利①<br>自由に生きる権利②<br>人間らしく生きる権利<br>広がる人権の考え方<br>人権保障の国際的な広がり | a:人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務等、社会における基本的な原理について日本国憲法を踏まえて理解している。<br>b:社会における基本原理について、自ら考察することを通して、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c:社会における基本原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会における課題の解決を視野に入れて、主体的に社会に関わろうとしている。 | 授業観察<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題 |
| | 民主社会と政治参加 | 政治と権力<br>議院内閣制と国会<br>権力分立と行政の役割<br>地方自治の役割<br>政党政治とメディア<br>選挙制度とその課題 | a:政治参加と公正な世論の形成、地方自治等に関わる社会の事柄や課題をもとに、よりよい社会を形成してく過程を理解している。<br>b:自立した政治主体として求められる具体的な課題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その課題の解決に向けて事実を基にして協働して考察し、構想したことを表現できる。<br>c:政治参加と公正な世論の形成、地方自治等に関わる課題の解決に向けて、主体的に社会と関わろうとしている。 | 授業観察<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期（１２月～１月） | 宗教・思想・伝統 | 個人の尊厳と自主・自立<br>幸福、正義、公正<br>人間の尊厳と平等<br>個人の尊重<br>法の支配 | a:人間は個人として尊重されるべき存在であり、対話を通じて他者と理解しあうことのできる社会的存在であること、伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れる等を通して自身の価値観を形成し、他者の価値観を尊重できるようになる存在であることを理解している。<br>b: 社会参画する自立した主体とは、地域社会等の様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会等を形作る存在であると多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 社会における課題の解決に向けて、主体的に考え、行動しようとしている。 | 授業観察<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題 |
| | 倫理的な見方・考え方 | 正義の葛藤と生命倫理<br>共有地の悲劇と環境問題<br>古代ギリシャの思想<br>古代中国の思想<br>近代西洋の思想<br>現代の思想 | a: 現代の諸課題について自身も他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公正等の義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることを理解する。<br>b: 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と行為の動機となる公正等の義務を重視する考え方等を活用し、自らも他者も共に合意できる解決方法を見出すことに向けて考察し、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c: 社会における人間としての在り方生き方について、現代社会に見られる課題の解決に向けて、主体的に社会に関わろうとしている。 | 授業観察<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>定期考査 | 授業観察<br>ノート提出<br>感想課題 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度